

平成26年12月

長良高校柔道部卒業生

百雄会

事務局

百雄会六十周年記念総会



七月二十日、グランペール岐山で百雄会創立六十周年記念総会が、来賓の鈴木母校校長、中田県柔道協会会長、辻母校同窓会長、歴代の恩師のご臨席

を賜り盛大に挙行することができました。祝宴が進むにしたがい、会場のスクリーンに各期の卒業時のアルバム等が映し出されると昨日のこのように

当時の思い出話に花が咲き、時の立つのも忘れるほど盛り上がりました。最後は、会場いっばいに皆で肩を組み校歌を熱唱し、本会の更なる発展を誓いました。

三浦先生のご逝去



平成26年1月互礼会にて
恩師挨拶での写真

三浦先生には、昭和四十一年から九年間、ご指導いただき、百雄会を心から愛していただきました。三浦先生の六十周年寄稿文より抜粋

もう一度人間に生まれ変わってきたいですかと聞かれて一瞬戸惑った。生きてきた七十年余の日々が思い

出される。切なかつた。迷った。ささやかな楽しさも得た。生きるとは、つまりこんな日々の積み重ねなのだろうか。今、この文を書くにあたり過ぎし日々を思い返す時、百雄会との出会いが充実した日々の思い出として大きな比重を占めていると改めて思う。感謝、感謝です。．．中略．．

もう一度人間に生まれたいと思いませんか、今一度尋ねられたら、はつきりこう言おう。何度でも生まれ変わって、青少年とかかわり合い、汗で輝く顔が見たいと。．．

三浦先生は、この寄稿文をお書きになった後、平成二十六年七月十一日にご逝去されました。這ってでも六十周年記念総会に出席する。一と最後の最後までおっしゃってみえたそうです。弟子を愛し、弟子を信じ、情熱の塊のような先生でした。

合掌

激励金贈呈

七月二十五日、羽賀会長が母校道場に赴き部員に激励金を贈呈しました。激励金を受領した部員からは「先輩方のご厚情に感謝します」等のお礼の言葉がありました。激励金は、恒例により合宿の交通費や栄養食等に充てられます。

事務局後記

お蔭様で、百雄会六十周年記念総会

も恙なく盛大に開催する事ができました。これもひとえに会員の皆様のご理解とご支援の賜物と感謝いたしております。本会もこの十年で、偉大な師であられた浅野先生・杉山先生・小島先生・渥美先生・三浦先生を相次いで亡くしました。我が母校柔道部をお育ていただいた先生方のご恩に報いるためにも、私たちは本会をしっかり存続していかなければなりません。母校で存在するOB・OG会の中で最も伝統があり、そして団結力が優れている組織であり続ける事が、我々会員に課せられた使命でもあります。そのためには、特に三十九期以降の会員の皆様の更なるご参画、ご尽力が必要です。参画者層の広がり無くして、未来に引き継ぐことは叶わないと思います。是非とも一月二日の新年互礼会には、多くの方にご参集願ひ、本会を盛り上げていただきたいと思います。微力ではありますが、事務局も精一杯頑張りますので、よろしく願ひします。

会報

前期収入	501,565
会費	199,000
金利	10,000
利息	74
合計	710,639
の部	
の寄付	10,000
会費	60,000
費用	67,265
ンター	38,460
ン品	4,780
会費	1,050
補助	1,505
手続	7,377
料	1,890
次期	519,312
合計	710,639